

木工部からの新事業情報

- * 昨年から木工部において、主作業の建具材の生産工程で生じる、端材の有効利用として「割箸」の製造事業の設備を整え、稼動を開始していました。「割箸」は現在日本国内で、年間260億膳が消費され、国民平均あたり、約200膳を1年間で使うと言われていています。その殆どが、中国から輸入された物で、森林の乱伐採につながり、環境問題になっています。

平成20年末から開始した「バイオディーゼル燃料精製事業」と並行して、「地球温暖化防止」や「資源の有効活用」を視点とした「環境を考える事業」として取り組んでいます。

さて、この度、3月4日に「割箸事業」に関して、財団法人JKA様からの「競輪」の補助金をいただき、新しく「自動割箸包装機（印刷装置付）」を導入致しました。この機械は日頃から皆様がよく目にする「ほか弁」や「コンビ二弁当」等に付いている紙袋やビニール袋に入った「完封箸」と言われる割箸を全自動で包装出来る機械です。「完封箸」はその名の通り、完全に封がされた状態に袋入れされた物で、衛生面に優れています。今回導入された機械は、同時に3色までの印刷機能も付いていて、オリジナル製品の加工も行う事が出来ます。今後本施設で生産した商品の加工に加えて、問屋からの手間で請け負う賃加工作業も見込まれ、工賃向上を図って行きたいと考えています。

補助事業完了のお知らせ

この度平成21年度の競輪の補助金を受けて、下記の事業を完了いたしました。

記

- 一、事業名 平成21年度機器の整備補助事業
- 一、事業の内容 機器整備（割箸製造機器一式）
- 一、補助金額 9,307,000円
- 一、実施場所 和歌山県和歌山市和田1283-2
- 一、完了年月日 平成22年3月4日

社会福祉法人つわぶき会
理事長 岩橋 正純

